



雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市長区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel.045-894-7474

自転車のたび

神戸への単身赴任直後に阪神淡路大震災に遭遇、不規則な生活が続いたためか「痛風」を発病してしまい今でも薬を常用している状況です。その後、土日曜日を健康的に過ごすためにと自転車を購入しました。そこで思い立ったのが那智にある一番札所「青岸渡寺」から始まる西国札所三十三ヶ寺巡りで、青春18切符と自転車を利用して約1年で巡り終わりました。札所巡りは三重県を除く近畿地区と岐阜県の広範囲にまたがるサイクリングの旅でした。舞鶴から天橋立・丹後半島伊根の舟屋への日本海の海岸を走る行程が札所巡りで一番印象に残っている所です。合間には鞍馬寺から貴船・赤目四十八滝・出石・室生寺・高野山・琵琶湖一周・安土城・淡路島一周・高松から屋島・金比羅山等、隔週の土日のどちらかはサイクリングで汗を流しました。その結果か風邪にかからない体質になったようです。2年弱で単身赴任が終わり横浜に戻り、車中心ですが「杉本寺」から始まる坂東札所三十三ヶ寺、秩父三十四ヶ寺をスタンプラリー気分ですり終え、百観音めぐりを達成しましたのでご利益があることを期待しているところです。

次に自転車を利用して達成感のあるものとは考えたところ、不安はありましたが「東海道五十三次」の旅でした。三島までは日帰り、その先は一泊・二泊の自転車旅で、夜は地元の居酒屋で名産を肴に酒を飲むことが楽しみな旅でした。旧東海道は現在の東海道から外れ地区の商店街や生活道路となっているところが多く、路地裏を通る場所もありましたが道路を土色に統一する等良く整備されており、一里塚・宿場町・お城・古墳・お寺・神社等を見学しながらの快適なサイクリングが出来ましたが、峠越えは自転車を押しながらの厳しい行程でした。やはり箱根峠は東海道最大の難所で湯本からは足を引き攣りながら峠越えをしましたが、旧東海道を通らなかった場所があったので、後日に畑宿から三島まで石畳の峠道・雲助の墓・山中城・一里塚を見ながらの街道の旅を楽しみました。箱根関所から三島までは歩いている方が少ないようですがお勧めのハイキングコースです。他の峠ですが、富士山をバックにした薩埵峠は安藤広重の錦絵の中に自分がいるような気がしました。鬼が出ると恐れられた木の根が張っている宇津ノ谷峠、金山宿からの石畳の峠道は自転車を押しながら難渋し、小夜の中山峠は車で下りるには恐怖感のある急な坂道、鈴鹿も峠近くは石畳で何度も休みながら峠越えをしました。京都手前の逢坂峠は頂上まで登りましたが旧街道が別にあることが判り引き返して再度の挑戦で京都に到着です。昔は峠越え同様大変だったのが川幅のある大井川の川越えだったと思われす。私は街道から海側にある木の橋で約千mの「蓬莱橋」を強風の中、怖い思いをしながら渡り切りました。橋を渡った先には牧ノ原台地の茶畑が広がり時代劇の一コマにいる気分でした。蓬莱橋と牧ノ原台地もお勧めのポイントです。街道から外れましたが、国産鰻の食事・奥浜名湖の綺麗な水と素晴らしい眺めをと浜名湖一周に挑戦しましたが目指す鰻屋さんが休みで、奥浜名湖では循環が悪いせいか水が濁っており残念でした。三ヶ日のミカン山からの眺望は期待通りでもう一度行ってみたい所です。また、数多くのお城を見た旅でしたが桑名の城が良かったと思います。今でも市民生活と密着している様子で、味わいのあるお城の石垣を「焼き蛤」を味わいながら時間をかけて見学しました。蒲原・由比・御油・有松・鳴海・桑名・亀山・関・土山の宿場町と御油の松原は素晴らしいものでした。もう一度訪ねたい所です。

東海道の旅も終り、今は中山道の旅に挑戦しております。奈良井宿まで走破中ですが東海道より厳しい峠道の行程が続いております、安全第一に一人旅を続けたいと思います。



大越 哲朗

1. 11～12月の活動報告

- ① 11月28日(土)晴 23名 竹林整備、製材、炭材詰め(本窯)、道具整備
- ② 12月5日(土)曇のち雨 17名 9号緑地(材搬出のみ)
- ③ 12月12日(土)晴 22名 コナラ伐倒(2本)、トウネズ徐伐(5本)、製材、炭材詰め(ドラム缶窯)
- ④ 12月19日(土)晴 24名 駐車場向い廃材撤去、材皮むき、炭焼き(3窯)、運営会、注連飾り作り、忘年会(参加23名)
- ⑤ 12月20日(日)晴 一名 炭焼き
- ⑥ 12月23日(水)晴 12名 友の会・望年会
- ⑦ 各水曜日に準活動日として木工作业を実施



長嶋さんの力仕事！工藤さんの指導の良かったお陰で空振りなんかしません！



駐車場前の廃材撤去。ネコやリアカーに乗せ、廃棄場所に移動し見違えるようになりました。



2009年度忘年会。短い間ですが担当レンジャーだった谷川さんも駆けつけてくれました。彼女の予期せぬカミングアウトもあり大盛況でした。



友の会望年会。米国国務省日本語研修所からご家族も含め7名の方が参加され、日本の文化を通して交流を深めていただきました。

2. 12月度運営会報告 —12月19日開催—

- ① 2010年1月の作業打ち合わせ …3項の通り
- ② 炭焼きの勉強会も予定していましたが、寒さが厳しいので延期させていただきました。
- ③ 例年恒例、注連飾り作りをしました。今年の講師は大越さんです。

3. 2010年1月度活動予定

- ① 1月9日 仕事始め。トウネズ除伐、製材(午前中)、炭材作り、本窯炭出し。
食事係:張間、武田 七草材料集め:大越、石黒
- ② 1月16日 竹林整備、炭材作り(炭小屋入り口付近のトウネズ材の片付けも含む)
食事係:赤羽、大越

- ③ 1月23日 製材、材の皮むき、トウネズ除伐、運営会(午後)+勉強会、SF具体案検討
食事係:林、大庭、鬼塚
- ④ 1月30日 クヌギ林の間伐(クヌギ以外を予定)、本窯炭材詰め、炭小屋整理、道具手入れ、
クヌギ林の管理作業
食事係:竹内、小林、山本
- ⑤ 2月6日 9号緑地
- ⑥ 毎水曜日:準活動日

4. その他

- ① 前述しましたが、2010年の仕事始めは1月9日です。6日(水)はゆっくりお休みください。
- ② 雑木林ファンクラブ通信インターネット版はここ。 <http://zfc.yamagomori.com/index.html>

5. 編集後記

- ① 今回の巻頭コラムは大越さんです。持ち回りで巻頭コラムを書いていただくようになり、寄稿者がどんな知らない一面を見せていただけるのかが毎回の楽しみになりました。大越さんの旅紀行から皆さんはどんなことを感じ取られましたか。ちなみに私関根は、大越さんって蛇以外にも怖いものを結構お持ちなんだと感じました。
- ② 鬼塚さんの「炭焼き勉強会」、12月も延期になってしまいました。立派な資料がじっくり勉強会をやってくれと訴えかけているのかもしれないね
- ③ 12月19日、パイスケのことを取り上げていただけるということで石黒さんが取材を受けました。その記事が1月17日(日)の神奈川新聞「団塊ナビ」に掲載予定だそうです。楽しみにしましょう。
- ④ ご本人の了解を得てはいませんが、古くからの仲間だった杉山さんが闘病生活をされています。残念ながら面会等はできませんが、みんなで病気快癒を祈念していただきたいと思います(もう少し詳しいことは大庭さんにお問い合わせください)。
- ⑤ 2009年の活動も大きな事故も無く終了できそうです(この時点では26日の最終日が残っていますが)。これも偏にメンバーの方の安全に対する心構えができていたからだと思います。とは言うものの、赤羽さんをはじめ佐野さん私関根と少なくとも3名が蜂に刺され痛い目に遭いました(うち2件は受診しボランティア保険を申請しました)。そのほか蜂が巣を何ヶ所も作ったり毛虫が異常に多かったりと例年とは違った印象の年でした。何れにせよ、蜂刺され以上の大きな災害が起きずにホッとしています。幾らボランティア活動を楽しんでいるんだからと言って痛い目や不愉快な思いはしたくないものです。新しい2010年は災害ゼロを目指して安全第一でいきましょう。

以上